

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500085
事業所名	グループホーム かなれ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 散歩時には積極的に挨拶や話しをしたり、民生委員から情報提供された「抹茶サロン」に参加して交流しながら、顔を覚えてもらえるよう努めている。今年度、初めて「夏祭り」を計画し、手作りのチラシを地域に配布、事業所1階で開催した。屋台の食事は職員が手作りし、家族や元職員、地域の方々の参加があり、利用者にとっても楽しい日を過ごすことができた。その後、参加された方から果物の差し入れがあり、地域への認知度アップにも繋がった。中学生の職場体験では男子2名が訪れ、利用者の喜ぶ表情も見られた。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回開催され、自治会長、民生委員、提携医療機関、家族、事業所管理者、職員等が参加している。議題によって歯科医師を招いたり、今年度いきいき支援センターの協力も得られた。事業所の状況や活動報告に加え、議題を設け、食事形態や外出レク、家事活動といった日常生活の内容を理解してもらったりしながら、意見交換している。参加者からの貴重な地域情報を今後の取組みに活かしたり、家族への周知にも努め、さらに有意義な会議にしたいと考えている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） いきいき支援センターとは困難事例、空き情報や入・退去の件で相談・連携関係が構築されている。管理者は名東区内のいきいき支援センターが開催の勉強会や名古屋市の研修に参加し、情報交換や交流の機会となっている。職員は「高齢者の食事に関する講習会」等、その都度研修や講習会に参加し、職員会議や運営推進会議で報告している。ボランティア関連で社会福祉協議会の協力も得ている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月、職員からの情報をもとに一人ひとりの状況や様子を伝える手紙を管理者が作成し、行事の際の写真添えて請求書とともに家族へ送付している。面会の折や「介護に関する要望書」を年2回発送し、出された意見や要望は職員間で話し合い、日々のケアや介護計画に反映させるよう努めている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	×	×	×	○				